

○「農業懇談会の事前調整」

(京都府宮津市 宮津地区連絡会議)(平成31年度第1回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年7月3日(水) 19:00~21:30
- 場 所: 宮津市役所
- 出席者: 委員4人、推進委員1人
事務局2人
※委員5人、委員以外2人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

宮村;耕作面積14ha、緊急課題は1.4haの遊休農地の対応(山手は遊休農地拡大傾向、平場は家庭菜園希望者あり)
辻町;耕地3.5ha 機械所有者2名 / 滝馬;耕地8.5ha 乾燥機9台 / 皆原;中山間直払の取組 50a遊休の恐れ
山中;イノシシ被害大 まとめ役不在 / 波路;プラン作成済(新規就農) / 獅子崎・波路町;高齢化。波路が耕作

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 農業懇談会事前調整 (今後は、プラン見直しや意見交換・話し合いの実施、女性活動を)
 - ・現状報告 杉末地区(耕作農地辻町地区) 3/10離農、機械共同組合のオペレーター1人(72歳)
 - 滝馬地区 地域のまとまりが難しい。獣害防護柵提起も賛成無し
 - 辻町地区 現農会長(50歳台)が集落営農に前向き。年数回草刈りを協働実施
 - 皆原・惣地区 農家2戸。中山間事業を実施。危機感はない
 - 山中地区 未整備農地で現状維持にも苦労 宮村地区 集落営農維持
 - 波路・波路町・獅子崎地区 プラン見直しを実施



4 活動結果

- 情報・意見交換 2.5 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援